

と・ば・たら・なら ② (文と文の接続)

(A) ~と、(B) ~	~ば、~	~たら、~	~なら、~
<p>① 右に曲がると、郵便局があります。</p> <p>② 春になると、桜が咲きます。</p> <p>③ 食べ過ぎると、体に良くない。</p> <p>④ お金がないと、困ります。</p> <p>例文：</p>	<p>① 朱に交われば、赤くなる。(諺)</p> <p>② 努力すれば、合格できます。</p> <p>③ 安ければ、買います。</p> <p>④ お金があれば、何でも買える。</p> <p>例文：</p>	<p>① 駅に着いたら、電話してください。</p> <p>② 100万円あったら、車を買いたい。</p> <p>③ 授業が終わったら、映画を見に行きましょう。</p> <p>④ お酒を飲んだら、車を運転してはいけません。</p>	<p>① 体が丈夫なら、何でもできる。</p> <p>② 大阪に行くなら、新幹線が一番速い。</p> <p>③ 明日いい天気なら、ドライブに行こう。</p> <p>④ あなたが行くなら、私も行きます。</p>
特徴	特徴	特徴	特徴
<p>Aの条件があると、いつも(だれでも)自然にBになることが多いという意味で使われることが多い。</p> <p>Bのところに、意志・命令・依頼・禁止・忠告などを表す文はこない。</p> <p>×空港に着くと、電話してください。</p> <p>×春になると、旅行に行きたい。</p>	<p>何か尋ねられたとき、条件(将来、起こり得る場合)が二つ以上あって、今の段階ではどちらかに決められない時に使う。「努力すれば合格できる。努力しなければ、合格できない。」</p> <p>Aの条件があれば、必然的にBになるという意味で使われる。諺などによく使われている。</p> <p>*住めば都 犬も歩けば棒にあたる</p> <p>Aの動詞が動きを表すものである場合は、Bに意志・命令・依頼・禁止・忠告などを表す文はこない。</p> <p>×国へ帰れば、手紙をください。</p> <p>×駅に着けば、電話します。</p>	<p>「Aたら、B」の形で「将来、Aが終わった時、Aをした時」に「Bのようにする」と言いたい時。</p> <p>AとBの間に必然的なつながりはなく、1回限りの偶発的なことが多い。</p> <p>特に後文Bに文型的な制限がない。</p>	<p>「ば」が条件が二つあって、確定していない時に、「なら」は条件が一つです。確定しているときに使うのが「ば」と「なら」の違い。</p> <p>「名詞」「形容詞」の仮定条件は「なら」をつけて表すのがふつう。</p>
備考	備考	備考	備考
<p>普通体+と</p>	<p>「ば」の形</p> <p>病気ならば・悪ければ・降れば・来れば</p> <p>来なければ・すれば・住めば</p>	<p>※ 「ば」と「たら」は多少意味上の違いはあるが、同じように使われる場合がある</p> <p>※ 「ば」⇒「たら」に置き換えられる</p> <p>① お金があったら、何でも買える。</p> <p>② 安かったら、買います。</p> <p>※ 「たら」⇒「ば」に置き換えられないことが多い。</p> <p>× 駅に着けば、電話してください。</p> <p>× 火事になれば、消防署に・・・。</p>	<p>「名詞」 休み ⇒ 休みなら</p> <p>「ナ形容詞」 静か ⇒ 静かなら</p> <p>「イ形容詞」 安い ⇒ 安いなら</p> <p>Iグループ 行く ⇒ 行くなら</p> <p>IIグループ 覚える ⇒ 覚えるなら</p> <p>IIIグループ 来る ⇒ 来るなら</p> <p>する ⇒ するなら</p>